

特256
105



0032464000

0032464-000

特256-105

静岡県勢要覧

静岡県総務部統計課

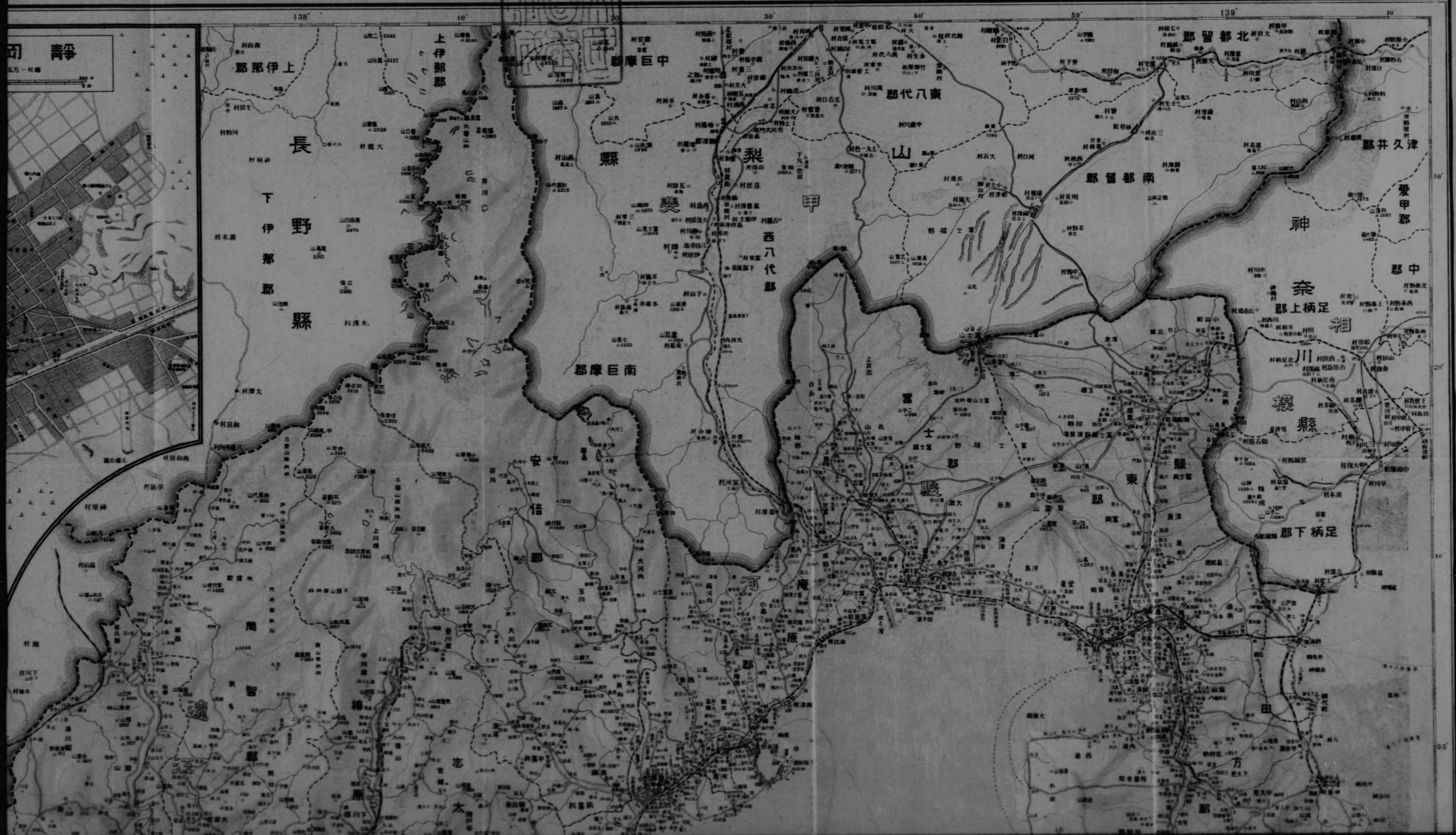
昭和12年

[昭和12]

AFB



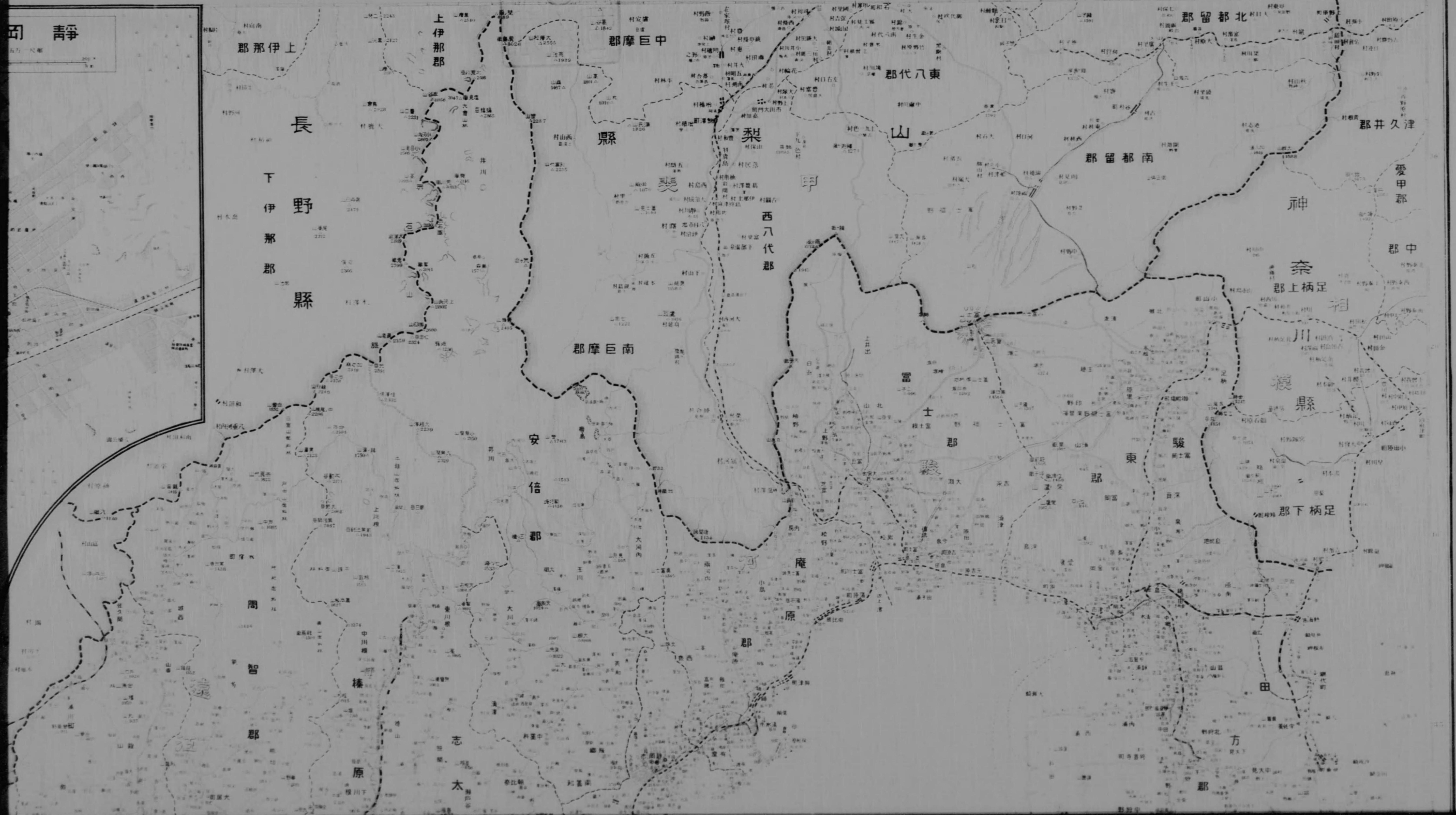
靜岡縣管内圖



靜岡

五万一千尺

靜岡縣管内圖

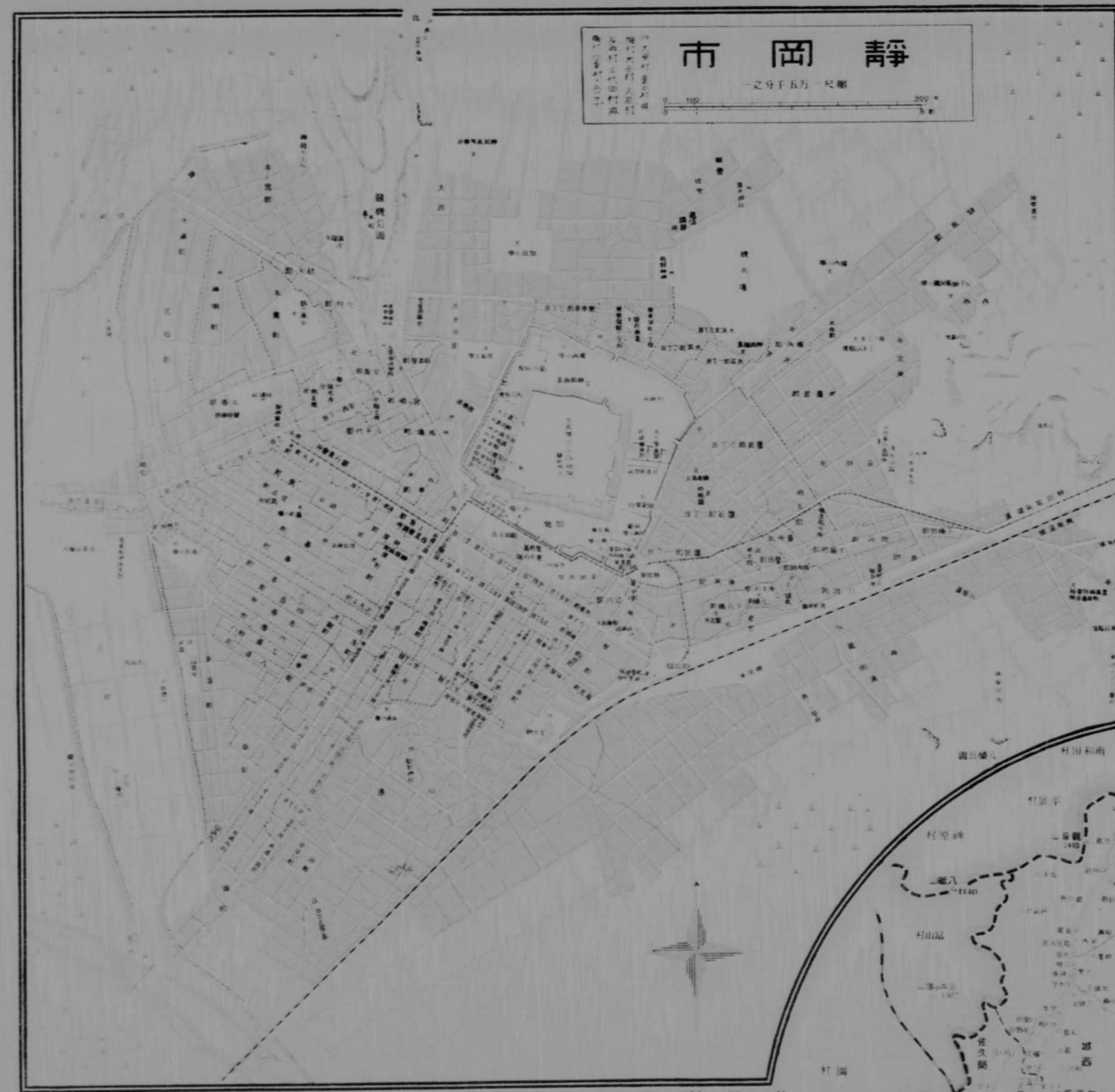


靜岡縣管内圖



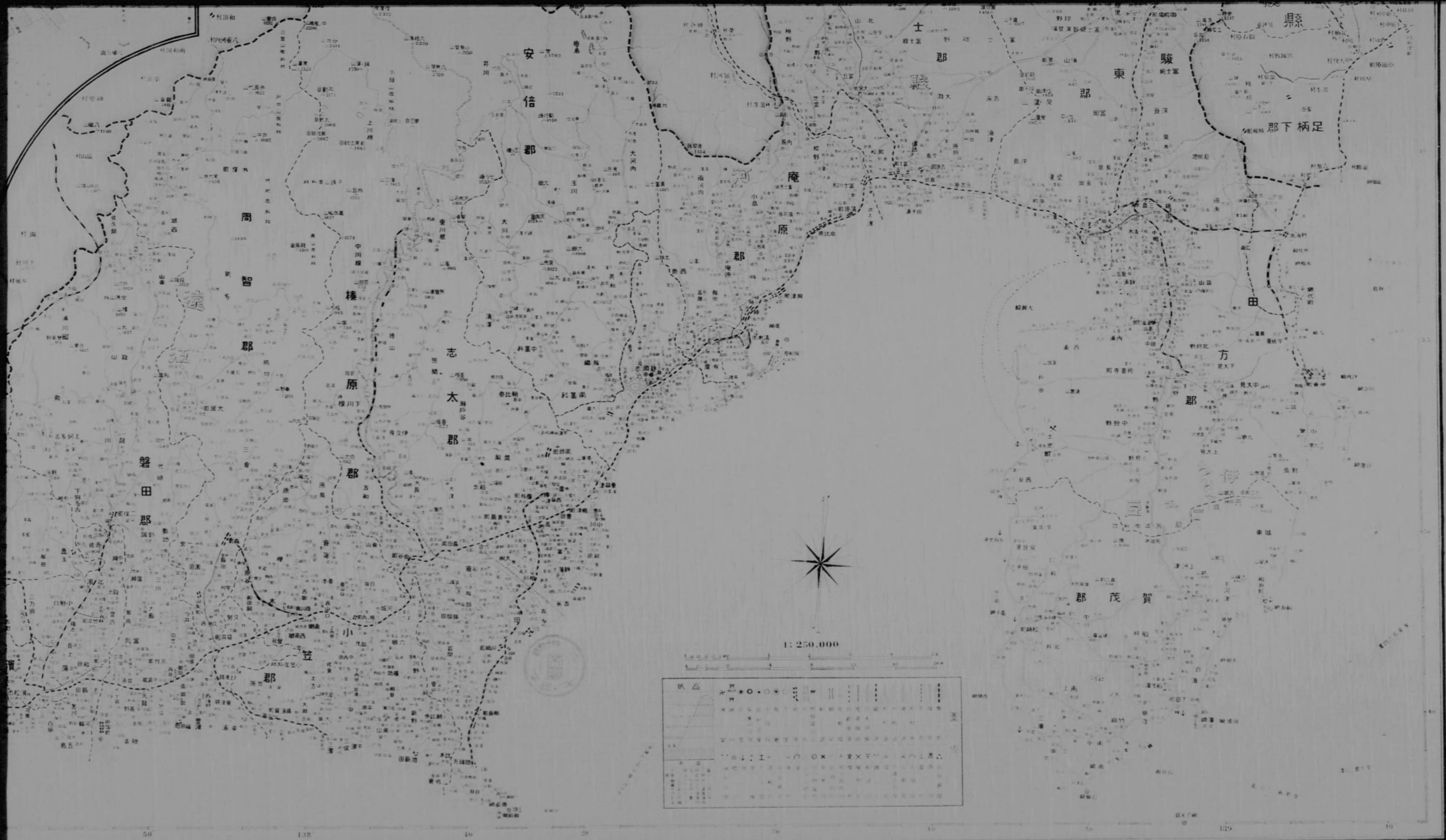
静岡市
一〇〇公里

靜岡縣管内圖





静岡縣總務部統計課



静岡県總務部統計課



郡茂加東

郡樂設北

縣知愛

郡樂設南

郡田額

郡飯賣

郡名八

郡美渥

1:250,000

標高	表示法
1000以上	▲
500-1000	○
200-500	●
100-200	○
50-100	●
0-50	○
0	●

道路	表示法
主要道路	—
普通道路	—
支線道路	—
河川	—
海岸線	—
境界線	—
市界線	—
町界線	—
村界線	—
鐵道	—
電線	—
電話線	—
郵便線	—
其他	—



静岡県總務部統計課

市		町		村		支庁		道庁		国		計	
...

市		町		村		支庁		道庁		国		計	
...

静岡縣總務部統計課

本縣の人口は、昭和二十一年の国勢調査によつて、前年比で増加した。これは、戦時下の特殊な状況にもかかわらず、出生率が高かったこと、および戦時難民の流入によるものである。特に、東部地方の人口増加が顕著である。

また、産業構造も戦時体制に適合して変化した。従来は農業が中心であったが、戦時需要に応じ、工業生産が急激に増加した。特に、軍需物資の生産が中心となっており、地方産業も戦時生産に振り向かされた。

交通手段の発達も、地方の経済活動を促進した。戦時体制下では、物資の輸送が重要であり、道路や鉄道が整備された。これにより、地方と都市との結びつきが強くなり、地方の発展に寄与した。

教育面でも、戦時体制に適合した教育が行われた。国民教育の普及が進み、戦時教育が推進された。これは、戦時体制の維持と国民の士気高揚に重要な役割を果たした。



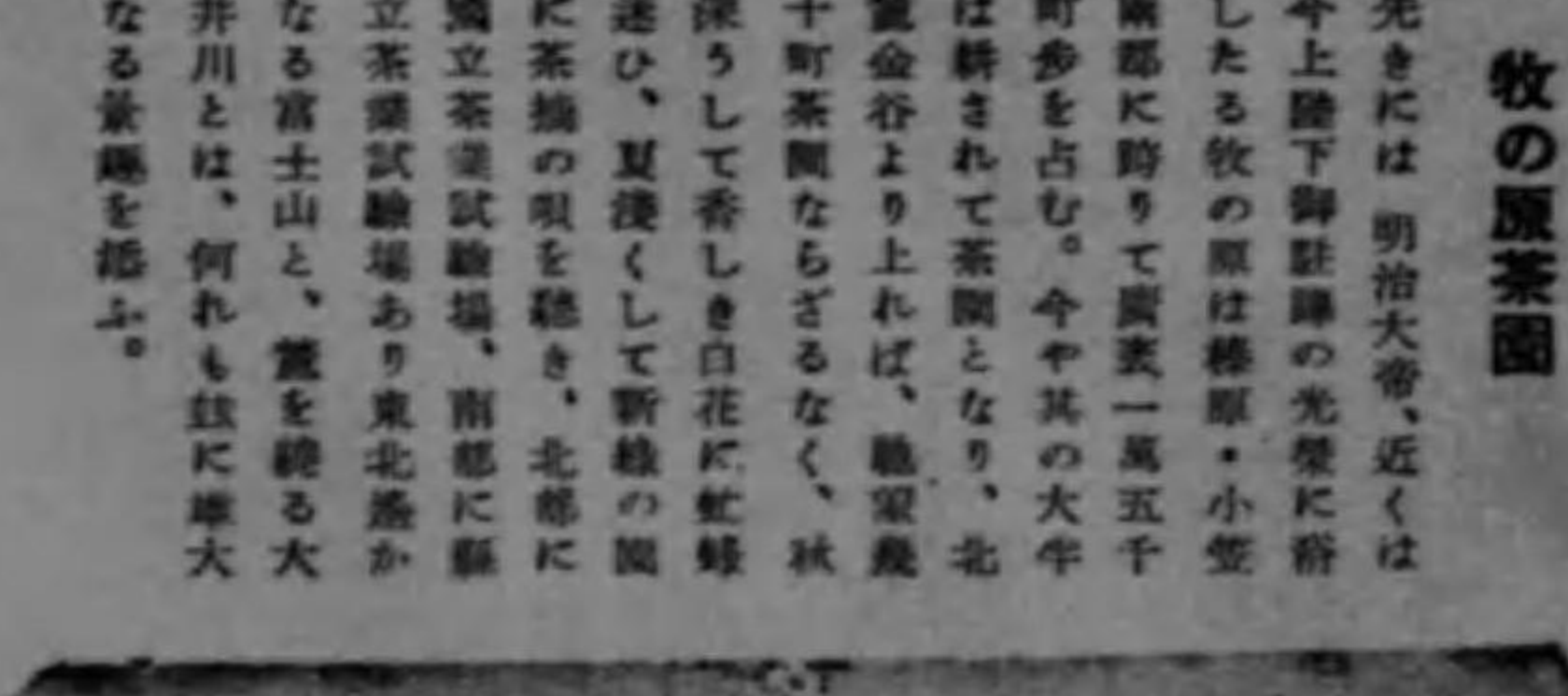
熱海と岡崎

東部の熱海と岡崎は、東海を隔てて、昔は別々の町であった。戦時体制下では、交通の便が良くなり、両地はますます発展した。熱海は観光地として知られ、岡崎は工業地帯として発展した。



牧の風景

先きに引いた明神大の近くは、今上陸した牧場の先鋒である。この牧場は、戦時体制下で重要な役割を果たした。畜産物の生産が戦時体制の維持に不可欠であり、この牧場はその中心地となった。



富士山

富士山は、静岡縣のシンボルであり、戦時体制下でもその景観は変わらなかった。戦時体制下では、富士山は国民の士気高揚に重要な役割を果たした。戦時体制下でも、富士山の景観は変わらなかった。



富士川

富士川は、静岡縣の主要な河川であり、戦時体制下でもその役割は変わらなかった。戦時体制下では、富士川は戦時生産に重要な役割を果たした。戦時体制下でも、富士川の役割は変わらなかった。

